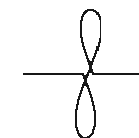


GNU Radioワークショップ開催の趣旨

東京大学
猿渡 俊介



MORIKAWA
LABORATORY

参加者

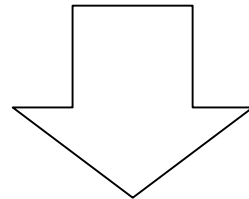
- 人数：46名
- 機関数：23
- 周知方法
 - 個人的に問い合わせ
 - ウェブにちよろっと情報を記載

モチベーション

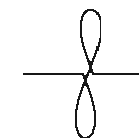
■ GNU Radioは何か面白いことができるはず

– 新しい技術の特徴を有している

- 領域の垣根を破壊
- 低価格化
- ハードウェアからソフトウェアへ



早く・安く・簡単に無線器を構築

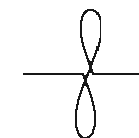


MORIKAWA
LABORATORY

趣旨説明

■ 趣旨

- 学会では発表しづらい情報を交換する
- 具体的には
 - 新しいソフトウェア無線の応用先の発見
 - GNU Radioからの視点
 - 技術情報の交換
 - GNU Radioの詳細・問題
 - 研究テーマの模索
 - GNU Radioを超えたもの



MORIKAWA
LABORATORY

新しいソフトウェア無線の応用先の発見

■ GNU Radioが有効な領域

– 学習ツール

- なぜ無線機を作る必要があるのか？

– 試作ツール

- なぜシミュレーションでは駄目か？

– ニッチ無線器

- 無線器は今後多様化していくのか？

技術情報の交換

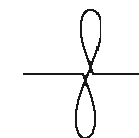
■ 例

- こういうライブラリ開発しました
- こういう無線器開発しました
- 性能はXXでした
- 実はドーターボードXXXはフィルタが良くない
- 自作ドーターボードを作りました
- USRP2コンパチのボードを設計しました
- GNU Radioより良さそうなものを見つけました

研究テーマの模索

■ 例

- XXという研究テーマはどう？
- 消費電力が重要なのでは？
- PythonじゃなくてRubyでやろうよ！
- GNU RadioにはXXという機能が欠けているのでは？



MORIKAWA
LABORATORY

まとめ

■ 発表時間

- 12分(8分10分12分に鐘がなります)

■ 次回以降

- ご意見を頂きたいのでアンケートにぜひご協力下さい

- 発表時間
- 開催頻度
- 開催形態
- 公知の方法